

日米

THE JAPANESE AMERICAN... 520 ELLIS STREET... SAN FRANCISCO, CALIFORNIA...

近事

禁酒法改正案... 直訴の心理... 民主党の大勝利は六月二日...

赤阪離宮玄關前... 直訴... 大森海岸埋立に反對した結果と判明... 犯人直に逮捕...

節子姫はハンカチ... 小學生は國旗を振り... 節子姫は横濱安着... 松平保子鍋島侯等...

節子姫は黄色の上衣に... 白のハットにて極めて... 富士の雄姿もくつきり浮び... 見晴らしのよい...

松平大使の新郎... 見晴らしのよい... 興味を唆る禁酒法... スミス氏は禁酒法勵行を...

節子姫の御部屋は... 正門の玄關から一番奥に... 彼方の丘上には... 滴るやうな新緑をたぐへた...

青島出兵は大失態... 政府はよろしく... 新興支那の建設... 民政黨の對支聲明書...

六月中旬の貿易... 輸出 五千四百二十七萬七千圓... 輸入 五千九百四十六萬八千圓... 朝日信託營業停止...

米國の支那撤兵は... 國際動搖を來す... 米支親善繼續の爲め出... 來るだけ早く實行する...

長江一帯平穩に歸し... 帝國軍艦近く引揚... 大統領選舉戦に... 興味を唆る禁酒法...

眞理を裏切れる... 既成宗教の缺陷... 世界の求道の現代人... 獨逸の... 組織失敗す...

支那出兵と... 米國の輿論... 暴動... 墨國內亂... 戰死者多數...

天氣豫報... 桑港及附近... 六月廿三日... 晴... 北西風...

THE SUMITOMO BANK, LTD. 315 California St., San Francisco, Calif. THE SUMITOMO BANK OF CALIFORNIA

住友銀行... 桑港支店... 羅府支店... 本店 大阪市北區五丁目...

THE FUJIMOTO SECURITIES CO. 1365 Russ Building SAN FRANCISCO, CALIF. TEL. GARFIELD 2728-2729

株の御用命は... 藤本證券株式會社桑港支店... 日本ホテル...

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, Ltd. SAN FRANCISCO BRANCH 415 Sansome St. LOS ANGELES BRANCH 100 N. Main St.

大春堂 THE TAISHUN-DO 1423 KERN ST. FRESNO, CALIF. 五月 廣島新聞...

AKI HOTEL 1651 Post St., S. F. Tel. West 1116 新築大擴張 安藝ホテル...

ルテホ府羅... 小川ホテル... 帝國ホテル... 日本料理...

現代長篇小説全集... 堂成大木青 1656 Post St. S. F. Cal. Tel. West 5361

米人飛行家ブ氏 太平洋一飛び計畫

機は名づけて大富嶽 基點は香港終點はラスベガス

邦人同乗者を希望

日本の太平洋飛行が盛んになると、邦人飛行家も出て来る。その先、米人飛行家ブ氏が、太平洋を飛び、ラスベガスに飛ぶ計畫を立てた。機は名づけて「大富嶽」とし、香港を起點、ラスベガスを終點とする。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

ラチオ放送

ラチオ放送は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

是々非々

是々非々は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

奥塩野球

奥塩野球は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

自 殺

自 殺は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

軍艦急派

軍艦急派は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

着込んで

着込んで、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

ラチオ放送

ラチオ放送は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

是々非々

是々非々は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

奥塩野球

奥塩野球は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

自 殺

自 殺は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

軍艦急派

軍艦急派は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

着込んで

着込んで、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

日本郵便

日本郵便は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

学園寄附興行

学園寄附興行は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

故村山氏 原籍判明

故村山氏は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

自 殺

自 殺は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

軍艦急派

軍艦急派は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

着込んで

着込んで、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

防長旅館

防長旅館は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

北米病院

北米病院は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

日本病院

日本病院は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

三井銀行

三井銀行は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

大正新茶賣出

大正新茶賣出は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

合組館旅港桑

合組館旅港桑は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

日本郵船株式會社

日本郵船株式會社は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

OSANA SHOSHEN KAISHA

OSANA SHOSHEN KAISHAは、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

DOLLAR STEAMSHIP LINE

DOLLAR STEAMSHIP LINEは、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

藤本商會

藤本商會は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

E. T. ARIMA & CO.

E. T. ARIMA & CO.は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

大正薬舗

大正薬舗は、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。ブ氏は、この飛行に、邦人同乗者を希望している。

南加版

米國で初の催 一万人の提灯行列
八月十四日の長濱博は 全南加同胞で占領し 米人側を驚かす計画

市場軍と下町組 ゴルフ競技開始
双方負けぬ力味返るが 市場軍に三分の強味あり

和歌山縣人会主催 野遊會二十四日
エルモンテ河畔の新設の 富尾遊樂園にて舉行す

三階の窓から
岡田 杜人

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

刀劍
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

家庭集會
エスエスの友

訪問記
紀伊那者男

南加廣告欄
南加廣告欄

初試合
南巴市軍の

新築
同好者集り

耕作者のその氣なら
一肌脱が
ミレーヴェイの
總支配人コーン氏

小學校
卒業式舉行
優等に卒業
園田ツグヨ嬢

獨唱會
土曜夜歌
栗原嬢

卒業式盛大
卒業者大會
葡萄業者大會

追弔會
先亡者
救世軍特別集會

宮本嬢の
告別演説

夏期學園
野球試合
巡查を相手に

佛教會日曜行事
佛教會日曜行事

國語學園
種々の催し
國語學園

賣店廣告
無痛療法
クリニク醫院

避暑客歡迎
夏屋旅館
避暑客歡迎

父の日の言葉
父の日の言葉

追弔會
先亡者
追弔會

追弔會
先亡者
追弔會

めがね
めがね

石野寫眞館
石野寫眞館

江田産院
江田産院

開院
開院

石川商店
石川商店

中原久一
中原久一

坂本便利社
坂本便利社

矢幡富藏
矢幡富藏

丸山商店
丸山商店

米
米

藤森醫院
藤森醫院

中村時計店
中村時計店

東農産會社
東農産會社

天野醫院
天野醫院

都會でも、山地でも、海邊でも、
どこへも富士！富士！
行つても富士！富士！
愈々面白くなつたと大評判！
見よ！堂々たる七月號の大盛観

藍天動地の赤城山大秘録
藍天動地の赤城山大秘録

幕府埋藏金發掘の大苦心！
幕府埋藏金發掘の大苦心！

純情俠妓小歌
純情俠妓小歌

大悲劇 紅毛鎗
大悲劇 紅毛鎗

友情 佐々木博士の父
友情 佐々木博士の父

深夜の貴婦人
深夜の貴婦人

東京本報發行所
東京本報發行所

稽古終つて

今夜七時から
稽古終つて
稽古終つて
稽古終つて

卒業式

卒業式
卒業式
卒業式

卒業生祝賀會

卒業生祝賀會
卒業生祝賀會
卒業生祝賀會

梨と杏

梨と杏
梨と杏
梨と杏

愛憎乱麻

愛憎乱麻
愛憎乱麻
愛憎乱麻

果實輸送

果實輸送
果實輸送
果實輸送

ロイヤル便り

ロイヤル便り
ロイヤル便り
ロイヤル便り

夏季授業開始

夏季授業開始
夏季授業開始
夏季授業開始

大村生

大村生
大村生
大村生

学校休暇

学校休暇
学校休暇
学校休暇

土井氏結婚式

土井氏結婚式
土井氏結婚式
土井氏結婚式

新村優等卒業

新村優等卒業
新村優等卒業
新村優等卒業

二つの引掛り

二つの引掛り
二つの引掛り
二つの引掛り

患者無料試用

患者無料試用
患者無料試用
患者無料試用

呼吸器ハイパー

呼吸器ハイパー
呼吸器ハイパー
呼吸器ハイパー

はげ脱毛

はげ脱毛
はげ脱毛
はげ脱毛

健康と長寿

健康と長寿
健康と長寿
健康と長寿

キングレター

キングレター
キングレター
キングレター

カントラクター

カントラクター
カントラクター
カントラクター

夜生毛

夜生毛
夜生毛
夜生毛

電気療法

電気療法
電気療法
電気療法

ニユーヨーク生命保険

ニユーヨーク生命保険
ニユーヨーク生命保険
ニユーヨーク生命保険

利益配當金

利益配當金
利益配當金
利益配當金

同胞加入者歓迎

同胞加入者歓迎
同胞加入者歓迎
同胞加入者歓迎

石井銀佐

石井銀佐
石井銀佐
石井銀佐

山尾醫院

山尾醫院
山尾醫院
山尾醫院

櫻府旅館業者

櫻府旅館業者
櫻府旅館業者
櫻府旅館業者

丸三切店

丸三切店
丸三切店
丸三切店

電塚齒科醫院

電塚齒科醫院
電塚齒科醫院
電塚齒科醫院

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

森本齒科醫院

森本齒科醫院
森本齒科醫院
森本齒科醫院

田中醫醫院

田中醫醫院
田中醫醫院
田中醫醫院

村上醫院

村上醫院
村上醫院
村上醫院

新藤商店

新藤商店
新藤商店
新藤商店

木村商店

木村商店
木村商店
木村商店

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

須市公認産婆

須市公認産婆
須市公認産婆
須市公認産婆

The Largest English Section Published Daily By Any Japanese Paper On This Continent

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

A Newspaper Primarily For American Citizens Of Japanese Ancestry In The United States

NUMBER 10292

Entered at the B. F. Post Office as Second Class Matter.

SAN FRANCISCO, CALIF., SATURDAY, JUNE 23, 1928

Copyright 1928 by The Japanese American News

Per Month \$1.00 Per Year \$11.00

LOVE DECIDES EXTENT OF HARMONY IN WEDDED LIFE, SAYS LOCAL GIRL

Varsity Graduate Thinks College Education Is Necessary

(This is the seventh of a series of articles on problems important to the second generation. The next, a letter contributed by a reader of this paper deals with the question of marriage between second generation girls and Japanese men and vice versa. It will appear in tomorrow's paper.—The Editors.)

"Mutual affection," she said, "is the soul of marriage." It was Miss Marian Nambu speaking. She possessed such an ease of bearing as to remind one of a great actress's poise. This exceedingly personable, and youthful graduate of the University of California, a member of the Phi Beta Kappa honor society, was expressing her views on the marriage problem of the second generation in an interview with The Japanese American News.

"Marriage," Miss Nambu continued, "may be a ragged discord or the most exquisite of harmonies. Love is the tuning fork by which this harmony is attained." Questioned whether she believed second generation girls would be happy in making homes in Japan, Miss Nambu said: "Girls born and bred in this country would find it exceedingly trying to adjust themselves to conditions in Japan. Customs and manners and even the mental attitude towards married life in that country are so different that second generation girls will find it difficult to attain happiness there."

On the subject of the education of girls, Miss Nambu said she favored a college education for girls because generally speaking girls make better wives after finishing a cultural course in university. "Their outlook on life will be broadened, their interests diversified, and they will be better fitted to bring refinement into the home," she declared. "Married life today, being essentially a companionship, education should make wives more interesting to their husbands, more sympathetic and understanding in every way. I don't think higher education will make girls view the world and its peoples coldly. Most college co-eds I know have the thought of marriage in their minds."

Touching on the subject of home training for girls, Miss Nambu said: "I think it is better for girls to wait for a year or two after graduating from schools before entering into marriage. Then they will have an opportunity to learn from their mothers the art of accomplishing their household duties."

JAPAN

And Things Japanese

Japan and Things Japanese, a section devoted to present-day news and views, and ancient facts, regarding the Japanese people and their country, is a regular feature of the English Section.

PICTURES OF THE NAGASAKI SCHOOL

(Continued from yesterday) It is generally known that some of Hokusai's one-sheet genre-painting of landscapes in thick colors are also not without exotic taste to some extent, such pictures as views of Kudanzaka slope, Mannen Bridge, and the Eight views of Omi may be cited as striking examples, while this great artistic exotic taste may be seen also in his pictures of Enkyo Bridge in Kai province, and those of many noted places in Edo anonymously painted. Although he may be criticized for monotony it is interesting to note his personality of aversion in everything, even expressed in his style of painting in the Western manner rather alien to himself.

Trees edged with bold dark black and deeply painted waves on earth rather impress us with mythical grotesqueness, instead of depicting nature as she is. All this style of Hokusai gives an exotic feeling, as Becklin's work does. At any rate, several masterpieces anonymously painted by Hokusai in the Western manner are found mixed with many other works with his signature produced while he devoted himself to the Western style.

Generally speaking, genre-prints are always with the author's name together with the publisher's name, and it is curious to find many ukioe full of exotic taste published with the name of neither the author nor the publishers. These are all exceptional cases, and Hokusai cannot alone be blamed, because it seems that it was a habit since the time of Toyoharu that such anonymous works were produced. The chief reason for this custom on the part of the painter to publish his works in exotic taste in those days

CLEANLINESS OF JAPANESE ONLY A MYTH

So Says Writer In Scoring Customs Of Nipponese

By AMANOJAKU Western people say the Japanese possess the marked habit of cleanliness. The impression is exceedingly kindly, but sad untrue. The nearest approach to the foregoing impression is our habit of taking hotbaths—as hot as to be almost boiling—every day. In all other respects we must admit that we are a people surprisingly indifferent to cleanliness.

Use Soap, Tub. When closely looked into, the Japanese love of hot baths is also of doubtful utility as far as cleanliness is concerned. At least a hundred people dip into the same tub, which contains a few hundred gallons of water and believe they have bathed.

Japanese dresses are outwardly pretty because they are rich in color and magnificent in pattern. But as to their cleanliness one needs only to examine them a little closer. They are usually not washed for a year or two years, while some quilts are never washed at all. From the hygienic point of view they are as undesirable as they could possibly be.

Don't Wash Sheets. It is decidedly rare among the Westerners not to have bed sheets washed at least once a week. The custom between which Japanese sleep do not permit of washing because they have cotton inside and hence are often attached to them, but they are kept in service until dirt shows itself on their white surface.

The places which require cleanliness most are kitchens and toilets. It is simply painful to think of these places in Japanese houses. The former is in chaos and the latter impossible to describe.

Floor Is Red. The tatami floor in Japanese houses serves at once as a sofa, chair, bed, and even as table. It is essential for sanitary reasons therefore, that it be kept absolutely clean. One need but lift a tatami slightly and look at the other side of it in order to ascertain how clean it is. In most cases one sees slimy mildew growing between dirt and the straw.

Why are tatami mildewed? Because the ground underneath is moist and dirty. The Japanese in other words are eating and sleeping on piles of straw covered with dirt.

Ceiling Dirty. Let us examine how the clean people keep their attics. The ceiling of a Japanese house, consisting of thin sheets of wood does not permit of people walking on it. Hence it is never cleaned. The place is filled with dust and furishes a comfortable home for rats. The rodents make a terrible noise during the night just above the heads of the people, throwing down fine dust from between the seams of the wooden sheets.

Step out of the house and notice the sewer. It is exposed to the sun and emits a repellent odor. Here and there in by-streets there are ponds where sewage is left to pollute in the open air. It is here that all sorts of germs and diseases start.

Outdoor Entertainments To Feature Week-End Outings In Los Angeles; Wrestling Tourney, Dances Planned

LOS ANGELES, June 21.—(Special)—Three huge picnics, in conjunction with field competitions, a sumo tournament and elaborate outdoor entertainments, will feature the week-end outings of the Japanese people of Los Angeles Sunday. The Kumamoto Association picnic which is an annual affair, will be held at the Akashi playgrounds in Montebello, a suburb of this city. More than three hundred are expected to take part in the all-day program which includes a number of athletic competitions, a Japanese amateur wrestling tournament, and a series of entertainments which

will be featured by the "Sunrise" dance and "Moonflower" "odori" performed by dainty second generation maidens. The Wakayama Ken Association of Southern California will hold its picnic Sunday in the spacious Tomio playgrounds of this city. The feature of the program will be a series of field competitions, which will include a treasure hunt, a flag race, and a baseball game. The Fukuoka Ken Association picnic will be held Sunday at the East San Pedro Beach. The picnickers will be at the grounds by 10 a. m.

67 BABIES VACCINATED

Japanese Children Examined During The Week

The annual child health examination conducted by the Japanese Association of San Francisco, just completed reveals that sixty seven babies were vaccinated during the three days. The report discloses that 37 had tooth trouble, 37 tonsillitis, 1 ear trouble, 5 underweight, 1 heart trouble and 4 trachoma.

Compared to other years this year showed improvement in the children's health.

Mountain View Gives Party For New Graduates

MOUNTAIN VIEW, June 20.—(Special)—A wienie roast in honor of graduating members of the Mountain View Union High School was given by the Mountain View Kyowa club at Half Moon Bay last Saturday. The colorful event was attended by 35 people. After the dinner the boys displayed their skill in boxing, swimming, wrestling and baseball.

Those honored were: Jack Kawamoto, president of the Kyowa club; reporter of the club and manager of the California Scholastic Federation, who was also star guard on the basketball team; Roy Tsurudomi, secretary of the club and manager of the high school orchestra.

Chosen As Head Of Girls' Club

SAN JOSE, June 21.—(Special)—Miss Alice Uyumura, popular Santa Clara girl, was elected president of the San Jose Girls' club at its semi-annual election held recently. The complete list follows: President—Alice Uyumura. Vice-president—Lena Takachi. Secretary—Emily Kawakami. Treasurer—Tokyo Uyeda. Social—Tokyo Uyeda. Athletic Mgr.—Virginia Kasano. The following girls are new members: Tokyo Uyeda, Mildred Uyumura, and Virginia Kasano.

THE WEATHER

Official Weather Forecast: Saturday: Fair and mild. Moderate westerly winds. Moderate to heavy showers. Sunday: Fair and mild. Moderate westerly winds. Moderate to heavy showers.

Henry Nikaido Is Stricken Ill On Trip South

SAN JOSE, June 22.—(Special)—Henry Y. Nikaido, former president of the San Francisco Student's club, who was operated on for acute appendicitis Thursday at O'Connor Hospital of this city, was in a critical state today. Nikaido left San Francisco Thursday and was on his way to Gilroy when he was suddenly stricken near San Jose. Nikaido is a graduate of Galileo High, and represented San Francisco in the All-California Oratorical Contest held by the Japanese Alumni of U. C. two years ago.

LEAVES FOR ORIENT

Dr. Walter Williams, dean of the School of Journalism of the University of Missouri and honorary president of the Press Congress of the World, with Mrs. Williams, sailed early this week for Manila. He will also visit in Hawaii, Japan and China. Dean Williams is making the trip in the interests of the Pan-Pacific Regional Press Conference to be held in Manila during July of next year. In Manila he will address a large gathering of Filipino journalists.

NIPPON SEEN THROUGH U.S. SPECTACLES

American Born Youth Writes Of Japan

By SHUNZO SAKAMAKI Student Professor, Doshisha University

TOKYO, June 10.—I have heard of American born young people of Japanese ancestry who come to Japan only to find the conditions and the people here so strange that they feel out of place. I expected to meet the same situation myself. However, I have been disappointed. Try as I will I cannot think of Japan as a strange and foreign country. I've been everywhere from Tokyo to the deep hinterland of Hiroshima; I've tried my best to see and study all I could of Japanese life and civilization. But I do not feel as if I were a stranger, an outsider.

I was born and educated in America, as an American and I think my thoughts in English. Whether my fundamental mental attitudes are Japanese or American I am not sure; I only know that English is my native tongue and I am just beginning to study the Japanese language. I came to Japan bearing an American passport; and also bearing a Japanese face. I have not had any difficulty anywhere; fortunately I know enough Japanese words to make my practical needs known, and to understand simple conversation. The people here take me at my face value, so to say; when I begin to speak my broken Japanese to them they gaze with surprise and wonder what strange specimen of the Japanese race confronts them.

Walks Alone. Please understand that I write of myself not in order to push myself before you, but simply because some of you may be interested to learn the reactions of a foreign-born Japanese on his first visit to the land of his fathers. I walk through the streets alone; nobody notices me; nobody talks to me except for an occasional "irashai." But I am not lonesome. I expect to return to America at the end of my two-year contract with the Doshisha; but I have no longing to return. I feel just as much home here as anywhere.

The natural scenery of Japan fascinates me. Hawaii is called the "Garden of Paradise," and in truth Hawaii is beautiful. But her charm is in her sweeping dash and vigor; the salubrious breeze; the racing surf; the swaying palm trees; the bracing sunshine; ah, there we drink in deeply the exuberance of youth! Japan's beauty is of a different type. The sublime dignity and grace of the pine tree; the stately grandeur of Fuji-san; the untruffled peaceful blue of the inland sea; everywhere the charm of melody followed by the centuries.

In Japan I miss the American drug store; the gasoline service station; the speeding police patrol and the ambulance with their shrieking sirens, the motorcycle cop, the juvenile bootblack, the newsboy and his "Paip! Paip!" In their stead I meet the cafe and "bim hall," the almighty bicycle whose name is legion; a relic of Detroit called the yen-taku; the vendor at the station with his "Kohel! Kohel!" and his less Westernized brother who makes his daily three rounds with a raucous "Tofooo! Tofooo!"

Two little negroes sitting by a tree. Up came a blackbird And pecked off their nose. One cried, "It hurts," and The other cried, "ouch!"

During lessons, the teacher asked Bill, recite your poem. "Bill," (after repeating the first five lines) "One cried a-a-a- (a boy behind him pinched him and Bill yelled): 'It hurts, Bill.' Teacher: 'That's right, Bill.' Samuel Nishimura of San Lorenzo contributes this joke: Tramp: 'Won't you help a poor fellow, lady?' Lady: 'The woman next door has been looking for someone to chop wood.' Tramp: 'Thanks for de warnin', lady.'

From Ben Oniki comes this funny

JAPAN GREET'S SETSUKO MATSUDAIRA AS FUTURE PRINCESS' JOURNEY ENDS

Nippon Gakuen At Selma Will Hold Exercises

SELMA, June 22.—(Special)—The Nippon Gakuen (Japanese Language School) of this city will hold its graduation and promotion exercises Sunday evening in the school.

Following the formal exercises there will be an interesting entertainment and literary review by the students. The graduates this year include Miss Yukie Hashimura, Hatsuo Okazaki and Miss Mitsuyo Shimizu.

BALL NINE TO VISIT NIPPON

Guadalupe Team Departs August First

The strong Japanese baseball nine of the Guadalupe Farmers Produce Company, which finished last season with ten victories out of eleven games played, will sail from this port aboard the N. Y. K. liner Koroa Maru on August 1 for a barnstorming tour of Nippon. The fifteen players of the team with Setsuo Otani as manager, are making the tour at the invitation of the Osaka Mainichi and Tokyo Nichi Nichi, two leading newspapers of Japan.

The Guadalupe nine is probably the oldest Japanese team in the United States. It was organized some 20 years ago. The team will stay in Japan for one month.

PLAY POLICE SUNDAY

SAN JOSE, June 22.—(Special)—The San Jose Asahi nine, strong local Japanese ball team, will clash with the Garden City Policemen Sunday at the new Asahi grounds on North Sixth Street.

OUR JUNIOR SECTION

The latest member of the Junior Club to obtain a camera is Kikuo Tanaka, Rt. 1, Box 34-B, Julesburg. Kikuo's camera was sent out today and should reach him in a day or two. Hope you'll like your Hawkeye, Kikuo.

From Margaret Miura comes this riddle: What's the easiest way to make a chicken run? Answer: Chase it.

Thanks for your letter, Margaret. We're sorry we can't see all of your nice contributions, due, naturally, to lack of space.

Bride-To-Be Already Elevated In The Public Eye

TOKIO, June 22.—(UP)—A school girl who has become familiar with the styles and customs of Western civilization arrived today in Tokio, ready to become the bride of the heir apparent to the Japanese throne.

Miss Setsuko Matsudaira, daughter of Ambassador Tameo Matsudaira, arrived with her family from the United States to prepare for her forthcoming marriage to Prince Chichibu.

A fortnight ago this girl, brought up as a commoner, was a student in an exclusive girls' school in Washington. She was shy but active in the fashionable affairs of the school.

Today when she arrived in Tokio she was looked on already as a princess and was elevated, in the public mind at least, from the position of a school girl graduate to a member of the Japanese royalty. The marriage will probably be in August or September.

Waiting Maids Chosen. Mrs. Takahashi, 49, the chief maid at Ambassador Matsudaira's household for more than 10 years, Miss Chieko Takahashi, 25, her daughter, and Mrs. Kane Iwagi, 58, elder sister of Mrs. Takahashi, were chosen to be the waiting maids of Miss Setsuko Matsudaira for three months, until her wedding to Prince Chichibu.

Whether or not those three maids will enter the household of Prince Chichibu after the wedding is not yet decided. Everything will be done according to the traditions of the Imperial household, it is reported.

Mrs. Takahashi and her daughter were sent from Washington D. C. some months ago to prepare the new Matsudaira house at Nakasaburo to receive Miss Matsudaira. Mrs. Takahashi has been waiting maid in the Matsudaira household since Miss Matsudaira was four years old, and has the eighth order of merit.

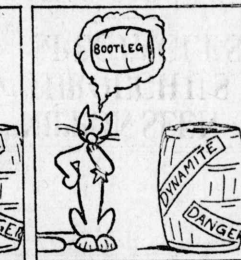
THE ROMANCE OF JAPAN

Through the Ages

By JAMES A. B. SCHERER An Interpretative Outline of the Story of Japan from the Introduction of Buddhism in 552 A. D. to the Passage of the Manhood Suffrage Act in 1925. (Continued from yesterday)

Once upon a time—so runs this racy sermon—there came a bushi from a certain province to see Ikkyu, the famous priest, and said to him: "I've always been something of a student, and feel as if I'd settled pretty much everything under the sun. But there's one thing I don't quite understand—the Buddhist doctrine of Heaven and Hell. Of course I know very well there are some Scriptural passages which teach that they really exist, but then on the other hand there are some that seem to me to deny their existence. On the whole, now, which of these two views would you say should be accepted as correct?"

CAT TALES



By Pusey